

第三部

⑫

「テクノロジー犯罪」も「嫌がらせ犯罪」も諜報活動・軍事活動の一環としてあるとの認識でスパイ防止法制定への対処

スパイ行為？

1. 国内スパイ行為、 2. 越境スパイ行為

1. 国内スパイ行為

外国諜報部員による国内でのスパイ行為
WGIP育成国内組織等によるスパイ様行為

元CIA・イスラエルモサド秘密諜報部員 カール・クラーク氏

Secret Surveillance and
Electromagnetic Torture
by the Secret Services



持ち運びできるレーダーによる追跡

(元諜報部員：カール・クラーク氏証言)

ミサイル迎撃用レーダーシステムの人間への応用

ターゲットはレーダー、衛星、基地局、無料のコンピュータプログラムで、どこに居ても追跡できます。ターゲットの近くに3台のレーダー装置が配備されることもありました。このレーダーからマイクロ波が発信され、その一部がターゲットを捕捉し、結果が評価されます。特殊部門に所属していた私の同僚は、コンピュータでターゲットを終日追跡することができました。

ターゲットの位置特定

マイクロ波兵器攻撃

反応観察

ターゲットに対する諜報活動

(元諜報部員：カール・クラーク氏証言)

ターゲットを探るために盗聴実施

ターゲットを混乱・欺くために、密かに住宅に侵入し、物を失くす、物を移動させる、コンピューターからデータを削除。

尾行し、鉄道の駅やバス停留所などで近くに現われ、頭をおかしくさせることもやりました。その他に、ターゲットの視野に確実に入る場所でけんかを演出し、他の多くの騒ぎを起こしました。

ターゲットへのさらなるプレッシャーあるいは連行という指令を受けた場合、幼児ポルノや爆弾の製造方法などのデータを、コンピューターに忍び込ませました。

レーダーによる追跡

(元諜報部員：カール・クラーク氏証言)

ターゲットはレーダー、衛星、基地局、無料のコンピュータープログラムで、どこに居ても追跡できます。ターゲットの近くに3台のレーダー装置が配備されることもありました。このレーダーからマイクロ波が発信され、その一部がターゲットを捕捉し、結果が評価されます。特殊部門に所属していた私の同僚は、コンピューターでターゲットを終日追跡することができました。

ミサイル迎撃用レーダーシステム
の人間への応用

レーダー追跡とマイクロ波兵器による攻撃 (元諜報部員：カール・クラーク氏証言)

このような形でターゲットの位置を特定することにより、マイクロ波兵器を簡単に正確に配備することができたのです。同僚は標的を正確に把握し、ターゲットがどのように反応するかを観察できました。

嫌がらせ犯罪は工作員活動としてある可能性？

日本はスパイ天国と言われている国

工作員組織網の存在とその調査
工作員対策法の必要性！

期待するスパイ防止法は！

諜報活動にある行為（カール・クラークさん証言にあるすべての行為）をスパイ防止法の対象に！

WGIP育成組織等による諜報活動様行為（政府系悪徳犯罪集団による行為）も対象に！

2. 越境スパイ行為

軍事的スパイ行為

軍事テクノロジーで最も重要な情報収集技術による
国境を越えての国民に対する攻撃も対象に！

能力拡大
対象：国民に拡大

スパイ
活動

軍事衛星

映像
ビルの中
盗聴・盗撮

指導者の考え
を読む

指導者を思い
のまま動かす

対ポストマンハッタン計画対策≡日本ざる防衛大綱の改定

サバイランステクノロジー（監視技術）

ラウニ・キルデ博士証言

スーパーコンピューター＋人工衛星



米国

イスラエル

同時に数百万人監視可＋ α

大量監視

マイクロチップとスーパーコンピューター による全人類監視

ラウニ・キルデ博士証言

- マイクロチップ（もしくは、マイクロチップを使わない最新の技術）と人工衛星を介して、私たちの脳機能を米国やイスラエルのコンピュータに接続する今日のスーパーテクノロジーは、人間性への重大な脅威となっている。
- 最新のスーパーコンピュータは非常に強力で、全世界の人々を監視するのに十分である。

サイバネティクス技術悪用

人間のあらゆる機能操作：人間コントロールテクノロジー

①三欲操作

食欲・性欲・睡眠欲

②生理操作

③五感操作

視覚・聴覚・嗅覚・
味覚・触覚

④感情操作

⑤身体機能の操作

⑥体調・疾病誘発 操作

⑦痛み・拷問感・ 重圧感・震動感操作

⑧思考操作 (介入・操作)

個人操作

大衆操作

期待するスパイ防止法は！ ポストマンハッタン計画を阻止する内容



⑬ 国家情報局

これまでの説明した提言と課題に
すべて応えられ対処できる組織！！

テクノロジー犯罪主体は？米国主導の秘された 巨大国家プロジェクト（ポストマンハッタン計画）

世界人民への
未認知戦

日本政府（国民への未認知戦）

軍・諜報機関の
世界的連携

学者・研究者・医者

血税

政治家

企業

人工衛星群利用

軍掌握・諜報機関が利用

サベイルランステクノロジーとサイバネ
ティクス技術を駆使するオペレーター
国境を越えて（ざる防衛）・国内組織

諜報部員の
諜報活動

新興宗教団体

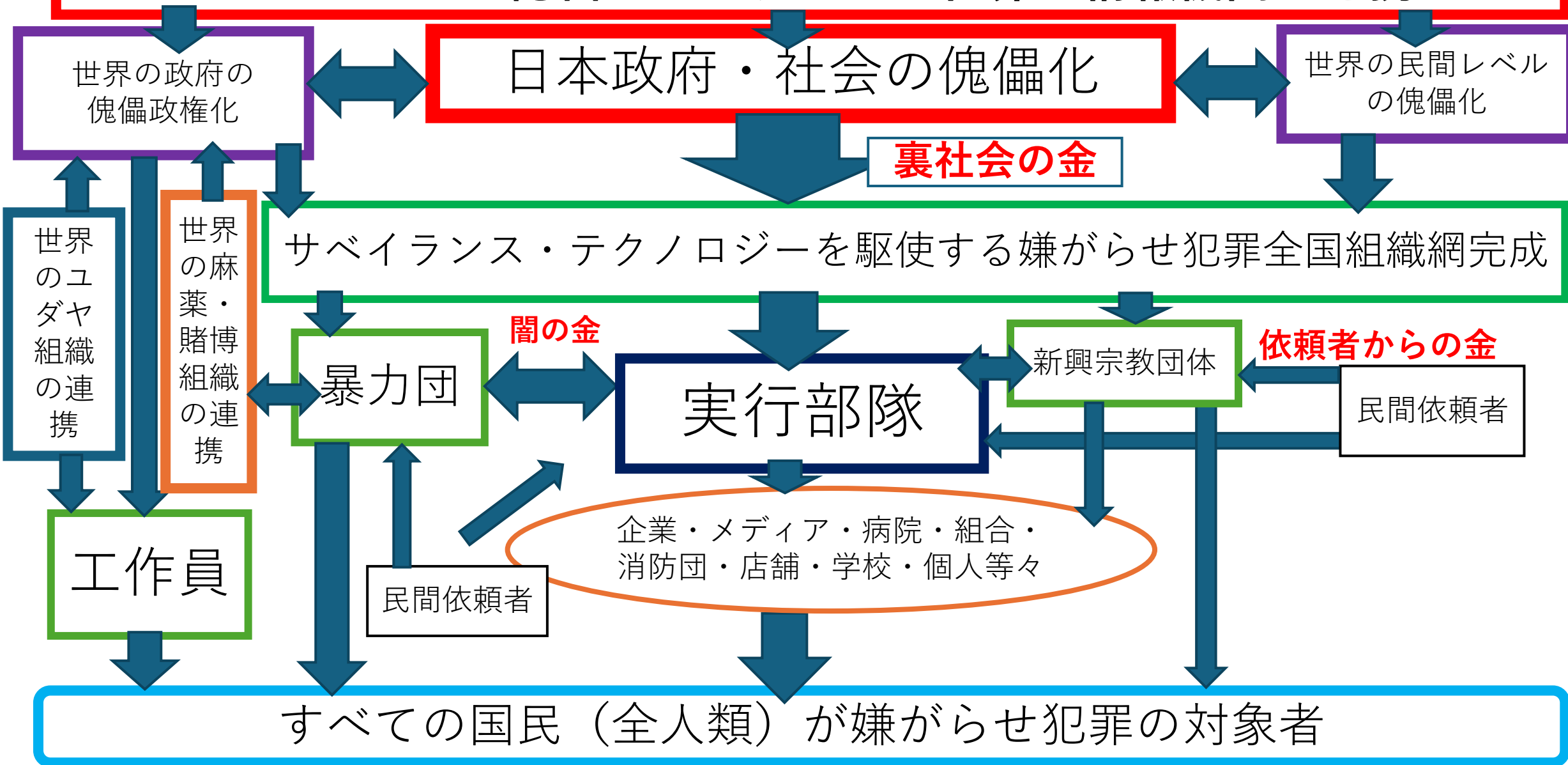
広域暴力団・各地
のヤクザ組織

テクノロジー犯罪実行ゲリラ部隊・機器

ヘリコプター、航空機、駐車された白いバン、隣接した住
宅、電柱、電化製品、携帯電話、テレビ、ラジオから攻撃

日本国民（全人類）絶対監視・絶対管理

嫌がらせ犯罪主体は？米国GHQ・極東CIA本部決定的影響 FBI・CIAによる隠密のプログラム 世界の情報機関の連携！



米国高度情報化時代の戦争推進

全ての国に宣戦布告のない高度情報化時代の戦争
基本的人権の全否定

ロシア

中国

その他すべての国

米国民

ポストマンハッタン計画推進
テクノロジー犯罪主体・嫌がらせ犯罪主体

絶対守秘義務＝侵すべからざる絶対的存在

米国民含め全人類
その傘下で一生涯生活

改善の手立てを一切与えない
極悪スパイラル全世界を引きずり込んでいる！

米国政治の秘された根幹
(超高度情報化社会・Absolute War 軍国主義国家)
何もできない決められない政治の理由

絶対監視

米国政治の秘
された根幹

絶対管理

米国内勢力争いとシャロンの言は一致するか？ また世界の諜報機関の連携とは？

F B I その他情報機関・政府機関全般の幹部・犯罪組織の裕福かつ有力な構成員・億万長者や企業エリートらがギャングストーキングプログラム利用して地位を得ている。

勢力争い

シャロン首相は、クネセットでのイスラエルの議会で、“私たち（イスラエル）が米国を支配する”と言いきった。この背景を調べれば、米国がいつも、“国連安全保障理事会”でイスラエルを非難することを決してしないことを理解できる。著名なドイツ系ユダヤ人の方が、イスラエルへの軍事資金（最大70%位？）が米国から来ている、と私に語ったことがある。ラウニ・キルデ著『黒い陰に輝く光』 p 2 0

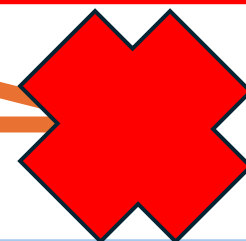
イスラエル政府との関係は？

CIA

1 0 0 年後のビジョン、四半世紀
ごとのビジョン、5 年ごとのビ
ジョン、毎年のビジョン提示・
議会で議論

新設国家情報局

昇格



WGIP育成既存の情報機関
テクノロジー犯罪主体と嫌がらせ犯罪主体

人員一掃

連携排除

国民・国家
のための活動

これまでの提言と課題に正しく応えられる機関

米国ポストマンハッタン計画打破
テクノロジー犯罪主体・嫌がらせ犯罪主体撲滅

侵すべからざる絶対的存在打破

米国民含め全人類
その傘下で一生涯生活解放

極悪スパイラル対策脱出

元民主党下院議員デニスJ.クシニッチ氏



2001年宇宙保護法 (Space Preservation Act 2001)

元民主党下院議員デニスJ.クシニッチ法案「H.R.2977」

第107議会 2001年10月2日

- 宇宙空間、大気圏内、または地上において、目標を損傷したり破壊したりできる、一ーエネルギー源（分子または原子エネルギー、亜原子粒子ビーム、電磁放射線、プラズマ、または極低周波（ELF）または超低周波（ULF）エネルギー放射線を含む）を用いて、殺傷したり、損傷を負わせることの禁止。
- 個人または対象の集団に向けて情報戦争、ムードマネジメント、マインドコントロールを目的とした、放射線、電磁気、精神工学、音波、レーザー、その他のエネルギーを使った陸ベース、海ベース、宇宙ベースのシステム利用の禁止。

珍しい武器システム

これには下のような珍しい武器システムを含む。

- (i) 電子、精神工学、または情報兵器、
- (ii) ケムトレイル
- (iii) 高高度超低周波武器システム
- (iv) プラズマ、電磁気、音波、または超音波武器
- (v) レーザー兵器システム
- (vi) 戦略的、戦域、戦術的、または地球外兵器、および、
- (vii) 化学、生物、環境、気候、または地殻構造兵器

2002年・2003年にも
法案提出

「珍しい武器システム」には、対象集団または地球または宇宙の対象地域への損害または破壊の誘発を目的とする、（イオン圏、および高層大気などの）宇宙または自然生態系、気候、天気、または地殻構造システムの損害を意図した武器を含む。

デニスJ.クシニッチ法案「H.R.2977」

2001年10月2日 元民主党下院議員

米国の国際的なスーパーコンピュータ制御システムを規制する法案

- 放射物（電磁波）を使用し、世界どこであろうが、国全体、個人（大統領や一般の街を歩いている人にも）に影響を与える。
- 陸上基地、海上基地、宇宙基地のシステムを使用し、電磁場兵器、精神兵器、音波、レーザー、その他の指向性エネルギー兵器を用いて、特定個人やある国の人々に狙いを定め、情報戦争、世相の演出、あるいは個人や集団の思考行動を操作できる。
- 目に見えないシステム（電磁波等）で、内戦から個人の人格まで操作できる。

軍によって精査され、それ以上進行させることが出来なかった。

クシニツチ法案：特殊兵器システム

- 法案にある特殊兵器システムという用語（概念）は、地球上、あるいは宇宙空間も含み、——生態系、イオン層、大気圏、気候変動に甚大な影響を及ぼす兵器類を含む。
- これらの破壊のプロセスは、国家の収穫や気候、人々の健康・精神・気分・他の因子に様々な影響を与えることができる。
- 地震と津波が光線兵器によって生成することができ、地球の地殻変動システムに影響するので禁止されなければならない。
- 米国が国家に対する目に見えない戦争に関与しており、地球上のさまざまな地域での破壊をもたらしている。

日本の被害者・世界の被害者の
絶叫が全人類の救済につながる
こと確信しております。

第18回テクノロジー犯罪被害フォーラム

終演